

報告事項ク

企画展「Our Collections! -鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから-」の開催について

企画展「Our Collections! -鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから-」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成31年2月7日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

企画展「Our Collections! -鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから-」の開催について

平成31年2月7日
博 物 館

企画展「Our Collections! -鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから-」を下記のとおり開催します。

1 趣 旨

鳥取県では、新たに県立美術館を倉吉市（倉吉未来中心隣接）に整備します（平成36(2024)年度中に開館予定）。「未来を『つくる』美術館」をコンセプトに、県民とともに作りあげる、県民がより身近に感じられる美術館を目指しています。この動きに呼応し、さらに多くの方々に興味を持っていただくため、美術館の核となる鳥取県立博物館の美術コレクションを中心とした展覧会を開催します。会場では、博物館がこれまでに集めてきた美術作品のほか、来場された方に美術館開館後のコレクション展をイメージしていただくため、これから新しく収集していきたいと考えているさまざまなタイプの作品を実物や写真資料などで紹介します。本展を通じて、新しい美術館の姿を皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

2 展示構成

第一章 鳥取県がこれまでに進めてきた美術コレクション収集の歴史を作品と合わせて紹介

第二章 「前田寛治とその周辺」「砂のある風景」など、幾つかのテーマを設定して作品を紹介

第三章 事前に行った人気投票で選ばれた作品を紹介

第四章 美術館の新しい収集方針の方向性（例：“国内外の優れた美術”として、「1970年代から現代までの国内外の美術」や、「次世代の作家による優れた作品」など）をイメージできる作品を、美術館や個人、画廊等のコレクションから借用して紹介

3 会 期 等 平成31年2月16日(土)～3月10日(日)

※開館日：20日間 休館日：会期中の月曜日

4 会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

5 観 覧 料 一般400円（団体200円）

6 関連事業

(1) 学芸員によるギャラリートーク

日時：2月16日(土)、3月2日(土) 14:00～15:00

会場：本展展示会場（要観覧料）

※16日(土)は特別ゲストとして第四章の出品作家数名が参加予定

(2) クロストーク「これからの美術館は何をコレクションするのか？」

日時：2月23日(土) 10:30～12:00

会場：2階講堂（参加費無料）

講師：南雄介氏（愛知県美術館館長）、外館和子氏（工芸史家・多摩美術大学教授）など

(3) スペシャルトークセッション「地方都市と現代美術」

日時：3月9日(土) 14:00～15:00

会場：2階講堂（参加費無料）

講師：原口典之氏（現代美術家・本展第四章出品作家）など

あたらしい美術館を、
イメージしよう。

Our Collections!

平成30年度 鳥取県立博物館企画展

鳥取県のアート・コレクションの、これまでとこれから

2019

2.16 [土] → 3.10 [日]

休館日：
会期中の月曜日

【開館時間】午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

【会場】鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

【観覧料】一般：400円、20名様以上の団体料金：200円

※次の方々は無料です。○大学生以下 ○70歳以上の方 ○学校教育活動での引率者
○障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者

【主催】鳥取県立博物館 【協賛】©日本通運 株式会社モリックスジャパン 株式会社 西園地会館 三輪海軍株式会社
【特別協力】ダグチアートコレクション 兵庫陶芸美術館



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

Our Collections!

鳥取県のアート・コレクションの、
これまでとこれから

鳥取県では、新たに県立美術館を倉吉市（倉吉未来中心隣接）に整備します（平成36(2024)年度中に開館予定）。「未来を『つくる』美術館」をコンセプトに、県民とともに作りあげる、県民がより身近に感じられる美術館を目指しています。この動きに呼応し、さらに多くの方々に関心を持っていただくため、美術館の核となる鳥取県立博物館の美術コレクションを中心とした展覧会を開催します。会場では、博物館がこれまでに集めてきた美術作品のほか、来場された方に美術館開館後のコレクション展をイメージしていただくため、これから新しく収集していきたいと考えているさまざまなタイプの作品を実物や写真資料などで紹介します。本展を通じて、新しい美術館の姿を皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

展示の構成

- 第一章…鳥取県がこれまでに進めてきた美術コレクション収集の歴史を作品と合わせて紹介
- 第二章…「前田寛治とその周辺」[砂のある風景]など、幾つかのテーマを設定して作品を紹介
- 第三章…事前に行った人気投票で選ばれた作品を紹介
- 第四章…美術館の新しい収集方針の原案（例：国内外の優れた美術、として、「1970年代から現代までの国内外の美術」や、「次世代の作家による優れた作品」など）をイメージできる作品を、美術館や個人、画廊等のコレクションから借用して紹介

1. 片山陽谷《月下猛虎図》江戸時代後期、絹本着色
2. 國領經部《遠い海》1977年、油彩・キャンヴァス
3. 佐伯祐三《オーヴェールの教会》1924年、油彩・キャンヴァス
4. 前田寛治《西洋婦人像》1925年頃、油彩・キャンヴァス
5. 辻智堂《拾得》1958年、陶影
6. 竹川豊彰《遊技》2011年、牛乳パック・ホ・ボンダ、個人蔵
（画像提供：オオタファインアーツ）

※所蔵先の記載のないものは当館所蔵です。



関連プログラム

■学芸員によるギャラリートーク

新たな美術館の中心となる鳥取県ゆかりの美術作品の特徴とその魅力、そして新しい収集の方向性を示す国内外のユニークな作品の数々について学芸員が解説します。

- ◆日時：2月16日(土)、3月2日(土) 14:00～15:00
- ◆会場：本展展示会場（要観覧料）

※16日(土)は特別ゲストとして第四草の出品作家数名が参加予定です。詳細はウェブサイトにてご確認ください。

■クロストーク「これからの美術館は何をコレクションするのか？」

社会のかたちが大きく変わろうとしているこの時代に、新しくつくられる美術館は何を見つめ、どのようなアートを収集していくべきなのでしょう。美術館の館長や大学の研究者を講師にお迎えし、これからの美術館コレクションのありようについて、ディスカッションを行います。

- ◆日時：2月23日(土) 10:30～12:00
- ◆会場：2階講堂（参加費無料）

※講師の詳細はウェブサイトにてご確認ください。

■スペシャルトークセッション「地方都市と現代美術」

近年鳥取県においても多く行われるようになってきたアーティスト・イン・レジデンスの取り組みが示すように、現代美術は私たちに近づく存在になってきています。大きな資本と連動した大都市のものとは異なる、地方都市ならではの美術との出会いや関係性は、どのような可能性を私たちにもたらすのか考えてみたいと思います。

- ◆日時：3月9日(土) 14:00～15:00
- ◆会場：2階講堂（参加費無料）
- ◆講師：原典典之氏（現代美術家・本展第四章出品作家）、尾崎信一郎（当館副館長）

とっとり県民カレッジ連携講座

いっしょにみてみて、
もくようび。



展示室に小さなお子様とご一緒においでいただき、気兼ねなく作品鑑賞をしていただくための時間として、会期中の毎週木曜日の午前中を「子どもと一緒に鑑賞優先時間」としています。ベビーカーを押して、ぜひお越しください。

次回展覧会予告「ニューヨーク・アートシーン」 2019年4月13日(土)～5月19日(日)



交通のご案内

- ◎JR鳥取駅からバスで
100円バス「ふるる(緑コース)」で「@仁風閣・県立博物館」下車すぐ
- ループバス獅子「◎鳥取城跡」下車すぐ
- 砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
- 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

※当館駐車場21台駐車可能
（なるべく公共交通機関をご利用ください）

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2-124
tel:0857-26-8042 fax:0857-26-8041
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/
E-mail: hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

お客様の満足の**その先へ**…

MORRIX
株式会社モリックスジャパン
TEL 0857-23-3641
本社 鳥取市商栄町203-6
倉吉店 倉吉市下田中町870 中瀬ビル3F
http://www.morrix.co.jp/

引越しは日通
フリーダイヤル ひっこしはにっつう
0120-154022